

事業シート (概要説明書)

予算事業名	社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業		事業開始年度	1999年度				
上位施策事業名	地域連携教育推進事業		担当局・部名	小中学校課				
根拠法令等			担当課・係名	児童生徒育成係				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	主幹・新井				
実施の背景	子供たちにとって、日常生活における社会体験の不足、地域社会での人間関係が希薄になりつつあることから、思いやりの心の欠如や我慢する心の弱さなどにつながり、さまざまな問題行動発生の原因の一つにもなっていると思われる。 中学生という多感な時期において、温かい人間関係の中で、なすべきこと、また決してしてはならないことを学び取る経験がとても大切であると考えます。							
目的 (何をどうしたいのか)	中学2年生(義務教育学校8年生を含む)が、5日間学校を離れて、校区の地域の企業等で、地域の方々の指導のもと、職場体験やボランティアなどの活動を行うことにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付ける。							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	富山県内 全公立中学校2年生、義務教育学校8年生 (74校) (3校)		対象者数(全住民に対する割合) 8,511 人 (0.8 %)				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ()						
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金(直接・間接) (補助先: 市町村(15) 実施主体: 市町村(15))						
		<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()						
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き)		事業費		活動指標		
		市町村への補助 (1/2)		14,760 千円				
広報パンフレット作成等		286 千円						
※学校や市町村からの申請ベースではなく、 原則として、すべての中学校2年生が参加する事業								
関連事業 (同一目的事業等)	社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」(県立学校課) 民間企業・大学での実験の体験等、インターンシップを実施							
コスト	2022年度(予算)		2021年度(決算)		2020年度(決算)		2019年度(決算)	
	事業費合計	15,046 千円	3,534 千円	248 千円	13,807 千円			
	事業費内訳 (2021年度分)	・市町村へ補助(1/2) 傷害保険代、指導ボランティア報酬費等 3,270千円 ・広報パンフレット作成等 264千円 ※2020年及び2021年は、コロナ禍により実施できない学校が多くあったため、決算額が小さくなっている。						
	担当正職員	0.3 人 2,213 千円	0.3 人 2,190 千円	0.3 人 2,183 千円	0.3 人 2,258 千円			
	臨時職員等	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
	人件費合計	0.3 人 2,213 千円	0.3 人 2,190 千円	0.3 人 2,183 千円	0.3 人 2,258 千円			
	総事業費	17,259 千円	5,724 千円	2,431 千円	16,065 千円			
財源内訳	国庫支出金	368 千円	365 千円	363 千円	376 千円			
	国支出金の内容 県費負担教職員国庫負担金(担当職員分の3分の1)							
	地方債							
	その他特財							
	その他特財の内容							
一般財源	16,891 千円	5,359 千円	2,068 千円	15,689 千円				
財源合計	17,259 千円	5,724 千円	2,431 千円	16,065 千円				

事業シート (概要説明書)

予算事業名		社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業			事業開始年度	1999年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度
		14歳の挑戦 参加人数	人	1,863 / 8,511	15 / 8,698	8,671 / 8,791
		【参考】受け入れ事業所数	事業所数	446か所	8か所	3,098か所
	※2020年及び2021年は、コロナ禍により実施できない学校が多くあったため、参加人数や受け入れ事業所が少ない。					
単位当たりコスト	総事業費	/	参加人数	3,072円	162,067円	1,853円
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	①生徒が、目標をもって取り組むことができる。 ②受け入れ先の職員や地域の人たちと交流し、充実した活動ができる。 ③自分の生き方を考える機会となる。 ④受け入れ施設・事業所として、受け入れる意義がある。 ⑤保護者として、体験活動後子どもに好ましい変化が見られる。 ⑥教職員として、体験活動後子どもに好ましい変化が見られる。				
	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度	
		①目標をもって取り組むことができた。	%	98.7%		98.7%
		②職員等と交流し充実した活動ができた。	%	83.4%	2020年度は、	96.9%
		③自分の生き方を考える機会となった。	%	95.0%	コロナ禍によ	95.2%
		④受け入れ施設等として、受け入れる意義があった。	%	98.0%	り、実施校が	97.5%
		⑤保護者として、体験活動後子どもに好ましい変化が見られた。	%	71.3%	2校のみで	81.5%
⑥教職員として、体験活動後生徒に好ましい変化が見られた。	%	89.9%	あったため、	90.4%		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p><自己評価> 事業実施後のアンケート調査において、9割以上の生徒が目標をもって充実した取り組みができたと回答している。また、受入事業所においては、約9割が本事業に対して意義があると評価しているとともに、保護者の約7割以上が、本事業を通して子どもに好ましい変化が見られたとしているなど、多くの大人が生徒の成長を感じている。 職場の方々と共に働くことを通して、相手の立場を考えた言動や規範意識の大切さを実感するとともに、進路や職業に対する考え方に広がりや深まりが出るなど、生徒にとって生きた体験ができる事業であるとする。</p> <p><課題> ・校区の地域に生徒の希望する職種の企業がない場合や、コロナ禍の影響により受け入れができないなど、各学校は受け入れ先の確保に苦慮している。</p> <p><今後の方向性> ・コロナ禍の影響や学校の実情を考慮し、活動期間を短縮したり、講演会等の職場体験の代替の取組を認めたりするなど柔軟に対応していく。 ・県内経済団体に対して、各地域における受け入れ事業所の紹介していただく。 ・他市町村間での広域的な受入の調整を行う。 ・生徒の希望を叶える職場体験活動となるよう、学校と保護者や地域が一体となって、「地域の子どもは地域で育てる」気運の醸成を図って継続して取り組んでいこうと考える。</p> <p>※県として、本事業の目的や方向性等を示し、義務教育の実施主体である市町村教育委員会に直接補助している。実質的な活動は、市町村教育委員会の監督のもと学校単位で行う。</p>					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県教育委員会 キャリアスクールプロジェクト (事業費：10,000千円+傷害保険代等) 活動日数：各校一任 ・愛媛県教育委員会 「ジョブチャレンジ U-15事業」 (事業費：8,500千円) 対象：中学2年生 活動日数：5日間 事業費は傷害保険代 ・茨城県教育委員会 「中学生社会体験事業」 (事業費：3,000千円) 活動日数：各校一任 事業費は、生徒が使用するテキスト「TRIAL HANDBOOK」作成費 ・兵庫県教育委員会 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」 (事業費：175,000千円) 対象：中学2年生 活動日数：5日間 事業費は傷害保険代 (兵庫県の事業費は、キャリア教育に関する他の取組も含む。) <p>※その他の近隣県においては、県の事業としてではなく、学校でそれぞれで実施している。</p>					
特記事項						

「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」協力事業所の職種

	職 種
生産	農業・園芸
	酪農・畜産
	漁業
	林業・木工芸
商業・ サービス	販売店（コンビニを含む）
	サービス業（ホテル・金融・電力等を含む）
	旅行業
	飲食店
	卸業・商社等
	商工会・事務所
	ガソリンスタンド
	理容・美容
	ペットショップ・動物病院等
	医療・福祉
社会・児童福祉施設（児童館等を含む）	
特別養護老人ホーム	
デイサービス・独居老人訪問	
機関・施設 (公共、民間)	市町村役場等（出先機関を含む）
	公共の体育施設・図書館・博物館
	警察署・消防署
	その他の公共施設（公園・文化ホール・動物園等を含む）
	郵便局
	民間のスポーツ・文化・レジャー等の施設
教育関連	幼稚園・保育園・こども園等
	小学校
	その他の学校
運輸・交通	運送・運輸
	自動車整備・販売
	J R・地铁・ライトレール・空港等
製造・建築	製造業
	食品製造・加工
	建設業(土木・建築・配管・電気設備等を含む)
	造園業
報道・広告・印刷	報道機関・マスコミ
	広告宣伝
	印刷業
文化・歴史等	地域文化の伝承・聞き取り
	陶芸・芸術・美術
	寺院・神社
国際理解	外国人との文化交流・教会
調査・研究	環境調査・発掘調査・測量体験等
	科学研究
	その他
ボランティア	施設等の修理
	道路・公園・広場等の清掃

別紙 2-1 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業 アンケート調査結果

生徒

1 目標をもって取り組むことができたか。

- A 十分にできた。
- B だいたいできた。
- C あまりできなかった。
- D できなかった。

	2021年		2019年	
A	76.0%	98.7%	76.1%	98.7%
B	22.7%		22.6%	
C	1.1%	1.3%	1.0%	1.3%
D	0.2%		0.3%	

2 体験したことや感じたことを家族と話し合ったか。

- A 十分に話し合った。
- B 話し合った。
- C あまり話し合わなかった。
- D 話し合わなかった。

	2021年		2019年	
A	54.8%	85.4%	56.9%	89.9%
B	30.6%		33.0%	
C	11.4%	14.6%	8.1%	10.1%
D	3.2%		2.0%	

3 指導ボランティアや地域の人と交流できたか。

- A 十分にできた。
- B だいたいできた。
- C あまりできなかった。
- D できなかった。

	2021年		2019年	
A	61.9%	83.4%	71.9%	96.9%
B	21.5%		25.0%	
C	5.4%	16.5%	2.6%	3.1%
D	11.1%		0.5%	

4 1週間は充実していたか。

- A とても充実していた。
- B だいたい充実していた。
- C あまり充実していなかった。
- D 充実していなかった。

	2021年		2019年	
A	81.8%	97.9%	80.5%	98.1%
B	16.2%		17.6%	
C	1.9%	2.1%	1.4%	1.9%
D	0.2%		0.6%	

5 自分の生き方を考える機会になったか。

- A とても良い機会となった。
- B まあまあ良い機会となった。
- C あまり考えられなかった。
- D 考えられなかった。

	2021年		2019年	
A	67.1%	95.0%	64.7%	95.2%
B	27.9%		30.5%	
C	4.2%	5.0%	3.7%	4.8%
D	0.8%		1.0%	

6 体験後も、お手伝いやボランティア活動等に出かけているか。

- A はい。
- B いいえ。

	2021年		2019年	
A	2.6%		8.7%	
B	97.4%		91.3%	

別紙 2-2 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業 アンケート調査結果

受入先

1 受入先として取り組まれてどうだったか。

- A とても意義があった。
- B まあまあ意義はあった。
- C あまり意義は認められなかった。
- D 意義は認められない。

	2021年		2019年	
A	60.7%	98.0%	55.7%	97.5%
B	37.3%		41.8%	
C	2.0%	2.0%	2.4%	2.5%
D	0.0%		0.1%	

2 活動した生徒の取り組みはどうだったか。

- A とても積極的だった。
- B 積極的だった。
- C 消極的だった。
- D とても消極的だった。

	2021年		2019年	
A	43.1%	92.5%	36.1%	90.7%
B	49.4%		54.6%	
C	7.3%	7.6%	8.8%	9.3%
D	0.3%		0.5%	

3 活動を通じて、生徒に好ましい変化が見られたか。

- A 十分に見られた。
- B 見られた。
- C あまり見られなかった。
- D 見られなかった。

	2021年		2019年	
A	37.6%	92.2%	33.2%	92.9%
B	54.6%		59.7%	
C	7.3%	7.8%	6.8%	7.1%
D	0.5%		.3%	

保護者

1 「14歳の挑戦」の趣旨について理解したか。

- A 十分理解した。
- B まあまあ理解した。
- C あまり理解できなかった。
- D 理解できなかった。

	2021年		2019年	
A	67.9%	98.4%	71.0%	99.3%
B	30.5%		28.3%	
C	1.3%	1.6%	0.6%	0.7%
D	0.3%		0.1%	

2 活動中、子どもと話し合ったか。

- A 十分に話し合った。
- B まあまあ話し合った。
- C あまり話し合わなかった。
- D 話し合わなかった。

	2021年		2019年	
A	37.1%	88.0%	41.3%	92.9%
B	50.9%		51.7%	
C	10.2%	12.1%	6.6%	7.1%
D	1.9%		0.5%	

3 活動を通じて、子どもに好ましい変化が見られたか。

- A 十分に見られた。
- B 見られた。
- C あまり見られなかった。
- D 見られなかった。

	2021年		2019年	
A	24.4%	71.3%	27.7%	81.5%
B	46.9%		53.7%	
C	24.7%	28.8%	17.1%	18.5%
D	4.1%		1.4%	

別紙 2-3 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業 アンケート調査結果

教職員

1 活動を通じ、生徒に好ましい変化が見られたか。

- A 十分に見られた。
- B 見られた。
- C あまり見られなかった。
- D 見られなかった。

	2021年		2019年	
A	27.3%	89.9%	27.9%	90.4%
B	62.6%		62.5%	
C	9.4%	10.1%	9.2%	9.6%
D	0.7%		0.4%	

2 指導ボランティアや地域の人との交流ができたか。

- A 十分にできた。
- B だいたいできた。
- C あまりできなかった。
- D できなかった。

	2021年		2019年	
A	31.7%	84.9%	37.3%	92.1%
B	53.2%		54.8%	
C	12.2%	15.1%	6.9%	7.9%
D	2.9%		1.0%	

3 活動を通じて、地域社会に対する見方は変わったか。

- A とても変わった。
- B 変わった。
- C あまり変わらなかった。
- D 変わらなかった。

	2021年		2019年	
A	33.1%	85.6%	20.6%	77.8%
B	52.5%		57.2%	
C	12.2%	14.4%	19.3%	22.2%
D	2.2%		2.9%	